



一人一人の工夫を生かして充実した2学期にしよう！

2学期が始まりました。新型コロナウイルス感染症はまだ感染者数が多い状態です。ただ、昨年と違い行動規制がないので、感染予防を徹底しながら、通常形で学校生活を始めることとしました。特に朝の検温をしっかり行い、37℃を超える発熱や体調がすぐれない場合などは無理に登校せず病院を受診してください。これまで行ってきた感染予防をしっかり継続し、2学期も人間力を高める4つの種子をさらに大きく育てましょう。

礼節の種子。「おはようございます」「よろしくお願いします」「ありがとうございます」「さようなら」など、自分から先に声を出して、笑顔で気持ちのいい挨拶をしましょう。

勉学の種子。学びの効果を高めるためには、自分からやる気を出して、ワクワクしながら学ぶことが大切だと話してきました。今、先生たちは「個別最適な学びを実現させるために」をテーマにして研修を深めています。一人一人がよりよく学べるようにするためには、皆さんの学ぼうとする、分かってもらう意欲がまず大事です。そして学び方を自分なりに色々工夫することが大切です。ノートの取り方、家庭学習の進め方や方法を工夫できる人は学力も上がります。いろいろな調査やテストから、本校の生徒は全ての教科に共通して「**書くこと**」に課題があるようです。自分の考えを書く力を高めるために、新聞の記事を読んで自分の意見を書いてみる、本を読んで感想を書いてみる。いきなり長い文章ではなく、自分の考えを短くまとめて書いてみる機会を増やしましょう。「書くこと」は何も文章だけではありません。数学であれば式をしっかり書いて考える、理科や社会であればモデル図や関係図を書いて考える。英語であれば英文や単語を繰り返し書いて、声に出して読んで覚える。今年から導入された「navima」の問題をどんどん解いてみる。映像や音声での説明もあり、自分のペースで分かるまで繰り返し視聴することもできます。

勤労の種子。先日、ある方が来校されて、「この学校は花が綺麗ですね」と褒めてくださいました。嬉しく思う反面、もっとできるよなと思いました。自分の名前が書いてある一人一鉢の花は大きく育っていますか？学級園は雑草が茂っていませんか？昔から「農作物は人の足音を聞いて育つ」と言われます。今日の花の具合はどうか、水や土は足りているかなと気かけながら、足を運んで手入れをする人の農作物は、きれいに立派に育つというのです。是非、こまめに手入れをしてみてください。

錬磨の種子。お互いに励まし合い、高め合える友達になりましょう。批判したり非難したり否定するのではなく、相手の意見をまずは聞いて、その意見の背景にある思いを想像しながら、自分の意見もはっきり述べる。そういう助け合い高め合う集団になってほしいと思います。

第40回体育大会の実施について

9月18日（日）に予定されている第40回体育大会について、本校の感染の状況から、今年も身体的接触の多い競技は諦めざるを得ず、学年種目などは実施を見送り、午前中の開催とすることにしました。昨年よりは競技数も増やして、応援団の活躍の場も増やします。生徒の皆さんには、3年生を中心に体育大会全体が盛り上がる工夫を考えてほしいと思います。保護者の皆さんの参観についても、感染リスクを考慮し、生徒用テントをいつもより広く設置する必要があることなどから、3年生の保護者のみ2名までとすることにしました。1、2年生の保護者の皆様、楽しみにされていたことと思いますが申し訳ありません。御理解の上御了承ください。

なお、映像の配信や記録して配布するなどの方法を検討中です。

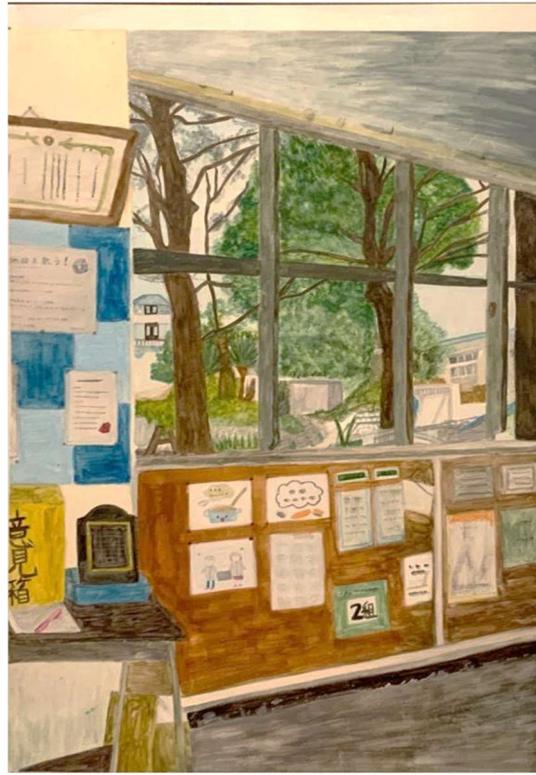
親子ふれあい奉仕作業への御協力、ありがとうございました。

令和4年8月28日（日）、一週間前の雷雨で延期となっていた親子ふれあい奉仕作業を実施していただきました。一週間前とは打って変わって晴れ渡った空には鱗雲も見られ、涼しい空気に秋を感じる中、早朝から2時間あまり汗を流して作業していただきました。特に、2年振りに校庭周りの側溝をさらっていただき、埋まっていた側溝も綺麗になりました。草刈り、落ち葉の収集など、手際よく作業を進めていただき、学習環境が整い、行事が多い2学期を迎える準備が整いました。ありがとうございました。





県図画作品展・特別賞
 県市議会議長会会長賞



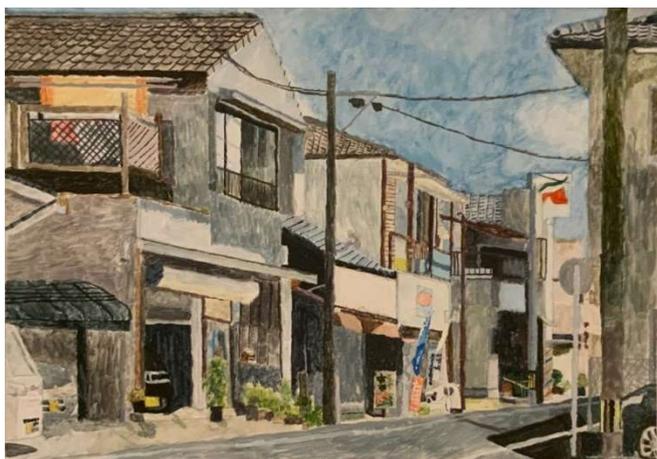
特選

吉野東中学校 3年 谷口 真愛
「ビニールハウスの中」

物の形や大小が様々で、奥行きも感じられるため、描くのが楽しそうだと思います。あたたかな空気感を出したかったので、全体的に暖色を多めています。袋の質感は特に力を入れたので、とても納得のいくものになりました。

吉野東中学校 3年 中間 奈々
「階段から見える景色」

学校の階段から見える景色をかきました。濃くはっきりと、遠近法を意識して、誰が見てもこの場所だとわかるように描きました。



吉野東中学校 2年 古賀 悠仁
「いつもの風景」

いつも通っている道の中にあふれている様々な色を、自分の手で描きたいと思ったので、この作品を描いた。この風景には灰色が特に多いのだが、その灰色の微妙な色の違いを描くことを工夫した。また、その他の色でも、その細かい一つの色の違いにこだわって描いた。

特選

8月28日(日)まで第73回鹿児島県図画作品展の入賞作品が黎明館に展示されました。本校からは6名の皆さんの作品が特別賞、特選、入選に選ばれ展示されました。どの作品もデッサンが丁寧で、同じ色でも濃淡をつけて立体的に表現するなど素晴らしいものでした。

写真では、本当の色合いができませんが紹介します。



吉野東中学校 1年 原口 陽向
「静かな港」

この作品で特に力を入れて取り組んだのは、はっきりとした濃淡を表すことです。そのために濃い所は絵の具に混ぜる水の量を少なくしました。見ていて落ち着くような作品にしたいと思いながら描きました。



吉野東中学校 1年 田原 瑠美
「花と玄関」

いつものように出入りしている生徒玄関と花の風景を描きました。この作品で特に力を込めて描いたところは、一つひとつの葉の色の違いや、光のあたり具合です。



吉野東中学校 3年 内村 愛梨
「真夏のガソリンスタンド」

ガソリンスタンドの建物や車が立体的に見えるように描きたいと思い、この作品を描こうと思いました。同じ色で塗るのではなくて、色を少しずつ変えて塗り、立体的に表現できるように工夫しました。